

4年 社会 自然災害 一問一答（20問） 版B

なまえ： _____

日づけ： _____

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

- (1) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
- (2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
- (3) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか
- (4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
- (5) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
- (6) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
- (7) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
- (8) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
- (9) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
- (10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
- (11) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
- (12) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
- (13) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
- (14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
- (15) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
- (16) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
- (17) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
- (18) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
- (19) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
- (20) 災害のときすぐになげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
